

NEC
Express5800 シリーズ

CLUSTERPRO[®] Ver6.0 Lite!
(Windows_® 2000 版)

UL1034-806

セットアップカード

ごあいさつ

このたびは、『CLUSTERPRO® Ver6.0 Lite! (Windows® 2000 版)』(以下『CLUSTERPRO』と省略します)をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
本書は、お買い上げいただいたセットの内容の確認を中心に構成されています。
CLUSTERPRO をお使いになる前に必ずお読みください。

なお、システムを構築するにあたっては「CLUSTERPRO システム構築ガイド」が必要となります。

CLUSTERPRO®は日本電気株式会社の登録商標です。

Microsoft®, Windows®, Windows NT®は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

その他のシステム名、社名、製品名はそれぞれの会社の商標及び登録商標です。

目次

<u>1. パッケージ内容の確認</u>	<u>1</u>
<u>2. 製品構成</u>	<u>2</u>
<u>3. 動作環境</u>	<u>3</u>
<u>4. セットアップ</u>	<u>4</u>
<u>5. UPDATE</u>	<u>5</u>

1.パッケージ内容の確認

CLUSTERPRO Ver6.0 Lite!のパッケージ内容は次の通りです。添付品がすべてそろっているか確認してください。

- CLUSTERPRO Ver6.0 Lite! KeyFD
- ソフトウェアのご使用条件
- お客様登録カード
- CLUSTERPRO Ver6.0 Lite! (Windows® 2000 版) セットアップカード(本書)

(ご注意)

本セットアップカードは、次の REVISION の KeyFD に対応しています。

- REVISION: 001

CLUSTERPRO Lite!によるクラスタシステムを構築するにあたっては、「CLUSTERPRO システム構築ガイド」を必ずお取り寄せください。

インターネットホームページ「それいけ！58宝船」の
[100 シリーズメニュー]→[Express ソフトウェア]→[CLUSTERPRO インフォメーション]
よりダウンロードできます。

また、修正情報のページ、

[100 シリーズメニュー]→[サービス&サポート&修正情報]→[修正情報]→[WindowsNT 関連] → [修正情報とダウンロードサービス]→[CLUSTERPRO 関連]

を参照し、ご購入の CLUSTERPRO のバージョンについて、アップデートが発行されているか確認してください。もし発行されていればあわせてダウンロードしてください。

NEC インターネット内でのご利用

<http://soreike.wsd.mt.nec.co.jp/>

NEC インターネット外でのご利用(注)

<http://www.soreike.express.nec.co.jp/>

(注)ご販売店からのご利用には事前の登録が必要になります。

2. 製品構成

CLUSTERPRO は Express Server Startup CD-ROM 媒体にて提供され、以下のソフトウェアから構成されます。

ソフトウェア名称	機能概要
CLUSTERPRO サーバ	クラスタシステムを構成するサーバにセットアップする。 CLUSTERPRO の提供する高可用性機能を提供する。
CLUSTERPRO マネージャ	クラスタシステムの管理クライアントにセットアップする。 GUIによりクラスタシステムの管理を行う。
Web サービス (CLUSTERPRO マネージャに同梱)	CLUSTERPRO マネージャをセットアップした管理クライアントにセットアップされる。 (WindowsNT®4.0、Windows® 2000のみ) ブラウザを使用してのクラスタシステムの参照が可能となる。
CLUSTERPRO クライアント	業務クライアントにセットアップする。 業務クライアントに常駐しフェイルオーバ発生時の通信パス等の切り替えを行う。

3.動作環境

CLUSTERPRO の各コンポーネントの動作環境は以下の表の通りです。

[サーバ]

CLUSTERPRO サーバ動作環境	
ハードウェア	対象機種及びモデルについては、製品通知を参照してください。
OS	Windows NT® Server 4.0 / 4.0 EnterpriseEdition (Service Pack 4以上) Windows® 2000 Server / Advanced Server
必要メモリ容量	17.0M バイト + (8.5M バイト × ミラーセット数)
必要ディスク容量	31.5M バイト

[管理クライアント]

CLUSTERPRO マネージャ動作環境	
ハードウェア	Express5800/100,50 シリーズ PC98-NX シリーズ、PC9821 シリーズ、PC/AT 互換機
OS	Windows® 95 / 98, Windows® Me Windows NT® 4.0 Windows® 2000 (Datacenter Server を除く)
必要メモリ容量	16.0M バイト
必要ディスク容量	15.4M バイト

Web サービス動作環境	
ハードウェア	CLUSTERPRO マネージャに準ずる
OS	Windows NT® 4.0 Windows® 2000 (Datacenter Server を除く)
必要メモリ容量	4.0M バイト
必要ディスク容量	10.0M バイト

[業務クライアント]

CLUSTERPRO クライアント動作環境	
ハードウェア	Express5800/100,50 シリーズ PC98-NX シリーズ、PC9821 シリーズ、PC/AT 互換機
OS	Windows® 95 / 98, Windows® Me Windows NT® 4.0 Windows® 2000 (Datacenter Server を除く)
必要メモリ容量	5.0M バイト
必要ディスク容量	2.5M バイト

4.セットアップ

CLUSTERPROをご使用になるためには、まずクラスタシステムを構成するサーバ、管理クライアントおよび業務クライアントに、それぞれ「CLUSTERPRO サーバ」、「CLUSTERPRO マネージャ」、「CLUSTERPRO クライアント」をセットアップしていただく必要があります。

セットアップとは、Express Server Startup CD-ROM 媒体内の CLUSTERPRO のプログラムを、実行できる形式にして固定ディスクにインストールし、各ソフトウェアが動作できるよう設定することです。

CLUSTERPRO のそれぞれのソフトウェアのセットアップ方法については、「CLUSTERPRO システム構築ガイド・クラスタ生成編（ミラーディスク）」¹を参照してください。

Windows2000 にて、Express Server Startup CD-ROM 媒体(RL2000/06)より
「CLUSTERPRO Ver6.0 Lite! サーバ」をインストールしてご使用になる場合は、
UPDATE が必要です。インストール直後に、KeyFD(REVISION: 001)に収めてある
Update を「5.UPDATE」の手順にしたがって適用してください。
なお以下の場合、UPDATE の適用は不要です。

- Express Server Startup CD-ROM 媒体(RL2000/06)以外からインストールされた場合
- WindowsNT4.0 にてご使用になる場合
- CLUSTERPRO Ver6.0 Lite! マネージャ／クライアント

¹ 「CLUSTERPRO システム構築ガイド・クラスタ生成編（ミラーディスク）」の入手方法については、「1 パッケージ内容の確認」を参照してください。

5.UPDATE

1. 既に運用を開始している場合は、次の2~4を行ってください。
CLUSTERPROサーバインストール直後(「ActiveRecoveryManager」サービス未起動)の場合はこれらの作業は必要ありません。
2. 両サーバの以下のサービスを[手動]に切り替えて、クラスタシャットダウンを行ってください。
 - ・「ActiveRecoveryManager」サービス
 - ・「ActiveRecoveryManager MD Agent」サービス
3. 稼働中のActiveRecoveryManager Aware APを全て停止してください。
NEC製の以下の製品が同時にインストールされている場合は、プログラムの終了または、サービスの停止を行わなければならない場合があります。
 - ・ESMPRO/ServerAgent
 - ・ESMPRO/AutomaticRunningController
 - ・ESMPRO/DeliveryManager
 - ・ESMPRO/DeliveryManagerエージェント
 - ・ESMPRO/DeliveryManagerクライアント
 - ・ESMPRO/FileTransfer
 - ・ESMPRO/Relay
 - ・OLTPpartner
4. 「SNMP」サービスを[停止]します。
5. FD ドライブに「CLUSTERPRO Ver6.0 Lite! KeyFD(Revision:001)」を挿入した後、コマンドプロンプトから以下の手順で、FD上のUPDATE.EXEを実行してください。

```
>A:                      カレントドライブをFD ドライブに変更  
>CD UPDATE                カレントディレクトリを¥UPDATEディレクトリに変更  
>UPDATE.EXE               UPDATE.EXEを起動
```

6. 以上でアップデートは完了しました。
アップデート適用でハードディスク上に展開された状態のファイルを以下に記します。
%SystemDir%\drivers\RASCAL2.sys 00/06/12 10:56a 131,377
RASCAL2.sysのファイルバージョンは、7.0.2.3となります。

以下のサービスを[手動]に切り替えた場合は、必ず両サーバで[自動]に戻してから、再起動してください。

- ・「ActiveRecoveryManager」サービス
- ・「ActiveRecoveryManager MD Agent」サービス